



塩の実験

食塩水は電気を通すかな

★むずかしさ



🕒 所要時間

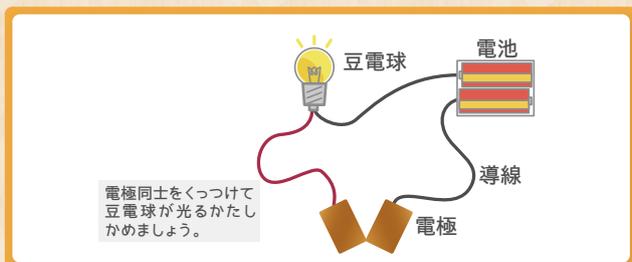
20～30分

準備するもの

- 食塩 50グラム
- 電池
- 精製水(コンタクトレンズ洗浄用など)
- 豆電球
- 200ミリリットル×2
- 導線
- (水道の水でも実験はできますが、精製水の方が食塩水との違いが良く分かります)
- 電池ホルダー
- 電極(金属製のクリップなど。できるだけ大きいものを用意してください。)
- 水を入れる容器 2つ

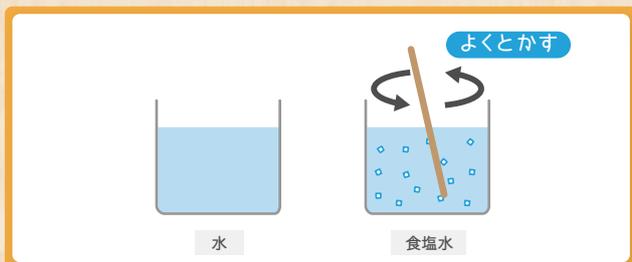
手順

1



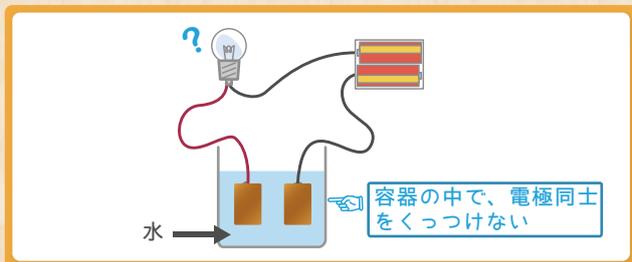
電池、導線、電極、豆電球などをつないで、図のような回路をつくります。

2



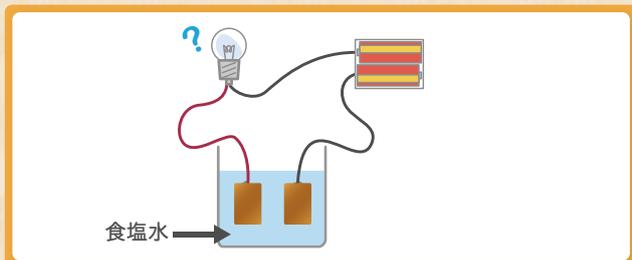
一方の容器に水200ミリリットルをいれます。もう片方の容器には水200ミリリットルと食塩50グラムを入れ、良くかきまぜます。(食塩の粒が見えなくなるまで、かきまぜます)

3



水がはいった容器と、水と食塩がはいった食塩水の容器に、それぞれ電極をいれて、豆電球が光るかを確かめます。豆電球が光ると、電気が流れたことがわかります。(容器の中で電極同士をくっつけないように注意します)

4



食塩水の場合

🖨 この実験を印刷する